

## 食道裂孔ヘルニアという病気をご存じでしょうか？

### ■ 食道裂孔ヘルニアとは

横隔膜の下、お腹の中にある胃の入口の一部や全部、あるいは大腸や小腸などが横隔膜の上、胸の中に滑り出した状態です。

### ■ 症状

胸やけがする

酸っぱいものが上がってくる

げっぷの回数が多い

嘔吐しやすい

※実際のところ多くの方は、無症状で過ごされ、食事摂取も問題ない方がほとんどです。

### ■ どういう方が起こりやすい？

高齢・亀背・肥満の方



高齢者に多い疾患で、慢性に経過するため、何十年もかかって少しずつ悪化していても症状は気づきにくいのが特徴です。

筋肉など支持組織のゆるみのため、胃が横隔膜を越えて胸腔内に脱出する良性疾患ですが、放置し徐々に進行すると、逆流性食道炎の合併や心肺機能低下リスクが高まります。薬で症状が改善しない方や大きな食道裂孔ヘルニアの方は、外科手術をお勧めします(高齢者のGERDガイドライン2019)。手術は、高齢者の方でも受けていただける体に優しい手術です。

症状がなくても高齢者で亀背や肥満の方で、食道裂孔ヘルニアが潜んでいる可能性が高い為、少しでも症状等でお困りのことがあれば、当院消化器内科・消化器外科にご相談下さい。

消化器内科：月曜日(瀬川医師)  
火曜日(大井医師)  
水曜日(馬場医師)  
木曜日(瀬川医師)  
消化器外科：木曜日(山本医師)  
金曜日・土曜日(神谷医師)



胃カメラやCTで診断します。